第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | セメント

セメント

座長:迫井裕樹(土木),西祐宜(建築)
2024年6月26日(水) 10:00 ～ 12:00 第3会場 (第1・2会議室)

[1003]少量混合成分の量を10%とした普通ポルトランドセメントを用いたコンクリートの室内ならびに暴露環境における物性評価

安田瑛紀[1], 桐野裕介[1], 細川佳史[1], 石田征男[1] (1.太平洋セメント)

キーワード：少量混合成分、普通ポルトランドセメント、石灰石、塩分浸透、暴露試験

セメント製造時における CO_2排出量を低減する観点から，少量混合成分の量を増加させた普通ポルトランドセメント（ OPC）を試製し，これを用いたコンクリートの物性を室内試験ならびに実環境への暴露試験によって評価した。アルミネート相（ C_3A）を増量させ，少量混合成分として10%の石灰石を含む OPCは，石灰石量が5%のOPCとおおよそ同等の性能であることを，セメント試験，コンクリート試験のいずれによっても確認した。海水滞留環境における暴露試験の結果，1年間ではいずれの OPCを用いた場合も劣化や変状は確認されず，少量混合成分の量による塩分浸透深さの差はほとんどみられないことが示された。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会